



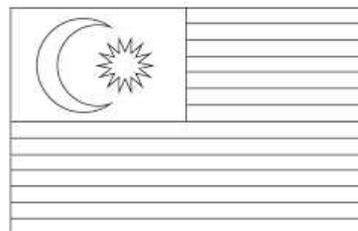
校長通信

令和5年度23号 令和5年12月4日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《マレーシアの生徒と交流しました！》

12月1日午後、マレーシアの中等教育学校の生徒34名と本校の3年生が、本校体育館で交流し、友情を深めました。マレーシアの学校制度は、まず、6年間小学校に通った後、5年間、中等教育学校で学ぶようです。今回、本校を訪問してくれたのは、13歳から17歳の生徒でした。



まず、歓迎式では、校長の歓迎のあいさつ、マレーシア引率教員代表のあいさつ、それぞれの学校の生徒代表があいさつをしました。その後、本校生徒は、前生徒会執行部の南中ソーラン演舞、3年生全員の合唱（群青）を披露しました。マレーシアの生徒は、学校紹介をプレゼンテーションし、次にマレーシアの民族ダンスを披露してくれました。

後半、グループに分かれて、交流しました。最初、やや緊張した面持ちでしたが、だんだんと打ち解けてきて、自己紹介をした後、英語で会話をしたり、ゲームをしたりして、本当に楽しそうでした。

生徒は、日頃授業で英語を学びますが、実際に外国から来た人と英語でコミュニケーションをする機会は、あまりないと思います。今回の交流は、学んだ英語を実際に活用してコミュニケーションする絶好の機会となりました。また、違う文化をもつ人と交流することによって、視野が広がったり、自国の文化を再認識することにつながったりすると思います。そういった意味で、生徒にとっては、たいへん貴重な有意義な経験になったのではないかと考えています。両校の生徒たちの楽しそうな笑顔を見て、わたしも本当にうれしくなりました。

《河北地区子どもを育てる協議会の講演会が開催されました！》

12月1日午後7時から、河北地区子どもを育てる協議会の講演会が、本校多目的室で行われました。講師は、



県庁危機管理消防課の職員の方で、「地域と防災」というタイトルでお話いただきました。南海トラフ巨大地震が30年以内に発生する確率が70～80%であること。大きな地震が発生したら、揺れがおさまるとすぐに率先避難をすること。また、避難カードを活用し、家族で避難場所を確認しておくことが大切であること。大雨時、テレビ、インターネット、電話等で自ら情報収集を行い、警戒レベル4で避難行動をとること。などなど、防災に係る様々なことを学ぶことができました。

本校育友会の方々も多数参加いただきました。ありがとうございました。